





社会福祉法人 こぐま福祉会

福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

F&X 0942-72-7222

発行人
こぐま福祉会
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



新年度を迎えて

昨年度末から新型コロナウイルス感染症で世界中が今だかつてない大混乱に陥っています。日本でも感染が広がっており、4月7日(火)、福岡県にも緊急事態宣言が出されました。終息するまでかなりの時間がかかるのではないかと危惧しています。その混乱した状況の中でご利用されている子ども達や成人の方、またご家族の生活がどうなっているか、大変心配しています。自宅で過ごす時間が長くなっている中、気持ちの不安や身体的な変化が起きているとの情報も入ってきています。こぐま福祉会としては感染予防のため様々な対策をとりながら、一方で利用者様やご家族の皆様の不安を少しでも和らげるために、規模を縮小しながらではありますが、可能な限りのお手伝いをさせて頂いています。

全ての方にとって大変困難な状況であると思いますが、お困り事やお悩み事などありましたら、ご自身で抱え込まず、いつでもスタッフへ遠慮なくお話しください。我々のできる限りの対応をさせていただきます。

今しばらくは利用者様、ご家族、そして我々スタッフ一同、最大限の感染拡大予防に努めて参りましょう。そしてまたいつかこの混乱が収まり、普段の日常と笑顔が戻ってくる事を信じて、この困難を皆様と共に乗り越えていきましょう。

(はぐ・しろくま園長 木下義博)

心の窓



児童発達支援センター ゆう 翔くん

こぐま学園との出会いは今から3年前になります。1歳6カ月健診で発達の遅れを指摘されて療育が必要だろうと言われました。市の療育機関に通い、他にも翔が成長できる場を求めてご縁があり、グループの集団療育に通う事になりました。ほたるグループの時はまだまだ幼くかわいさいっぱいでしたが、周囲に比べ、「言っても伝わらない」、「何度やっても出来ない」、「意味のある言葉が出ない」、「移動はおんぶ」など悪い所ばかりに目が向き、いつになったら出来るのかと不安ばかりの日々でした。笑顔も減り泣く事も多く母子通園が辛い時もありました。それでも地域の園に通わせたい、通える様になって欲しいという期待もまだ持っていました。しかし約1年経っても大きな成長はみられず希望する園にも入園を断られてしまい、こぐまでゆっくりと出来る事を増やしていくのが一番だと考える様になりました。その頃から私も翔の成長するスピードに慣れてきて、一つ一つの積み重ねが大事だと気付く事ができました。

単独通園が始まり、一人で出来ているのか、お友だちや先生に迷惑をかけていないかと心配ばかりでした。しかし色々視野が広がり興味の幅が増えたり制作活動にも集中して取り組めたりと、連絡帳や先生方から教えてもらおうと嬉しくなる程でした。今ではほぼ休まずに元気に通ってくれています。

まだ自分の伝えたい事を上手に表現できずに崩れてしまったり、新しいことだわりが出たりと、悩みや不安は絶えません。私自身が未熟で、未だに落ち込み涙する時もあります。その時は、スタッフの方々から悩みの対処方法を色々な角度からアドバイスしてもらったり成長と一緒に喜んでくれたりと、丁寧に接してもらっているので翔も安心して通園できています。それからお母さん達と色々な事を話し、共有する事で前向きになれました。こぐまでの出会いや経験は本当に大きな支えとなり、何度も救われ乗り越えてこられたので感謝の気持ちでいっぱいです。

(翔の母)



就学お祝い会

園庭の桜の花も満開になった3月27日(金)、はぐ・しろくま・ゆうの就学児15名のお祝い会が開催されました。令和になって初めてのお祝い会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小しての開催になりましたが、こぐまのスタッフ全員で案を出し合い「今までにないお祝い会」を合言葉に工夫を凝らしました。

縮小の為、当日、参加できなくなったスタッフの写真とたくさんのメッセージが、子ども達を教室で出迎えました。それぞれの晴れ着を着た子どもたちは、いつもよりお兄さん、お姉さんに見えました。入場の時は、少し緊張している様子でしたが、園長から一人ひとり療育証書を受け取り、嬉しそうな表情を見せてくれました。今回、参加を見送ることになった在園児のお友だちと保護者の皆様は、スライドショーでエールを送りました。

最後に、15名の年長児さん、こぐま学園での思い出を胸に、それぞれ新しい場所でも一人ひとり輝いてくれることを祈っています。

(お祝い会係 妹川)



こぐまLINE



相談員 重松

こんにちは。相談員の重松(戸田)涼子と申します。小郡から少し離れたクローバープラザ(春日市)の中にある、福岡県発達障がい者(児)支援センター(福岡地域)に所属しています。大学を卒業して、こぐま職員から他市の障がい者基幹相談支援センターを経て今に至ります。

私は、最初のこぐま時代、お母さま方とどうお話ししていけるのか、寄り添っていかれるのか悩み、カウンセリングに関心をもつようになりました。また、障がい者基幹相談支援センター時代には地域で暮らす成人の方々と接し、暮らしについて、子どもから大人までの長いスパンでの支援、豊かさとは?といったことを考えるようになりました。さらに、自分の暮らしも振り返り、心の豊かさを大事に思っています。

どうあると心が豊かなのかは人それぞれです。それでも、人との繋がりがや、社会の中で自分の居場所があることは普遍だと感じます。在り方はそれぞれでいい。その上で安心して繋がれる場を創っていききたいです。

事業紹介

【児童発達支援センター ゆう】
【児童発達支援センター はぐ】
【児童発達支援事業 しらくま】

就学前のお子様を対象に、年齢や目的に合わせて集団療育を行っています。最初は保護者の方と一緒に通園を行い、様々なことを一緒に経験していきます。安心した環境の中で少しずつ自信をつけ、段階を追って単独通園へと移行していきます。年齢と共にだんだんたくましくなっていく子ども達を見て、私たちも感動させられることがたくさんあります。今年度も子ども達や保護者の方の笑顔がたくさんみられるよう楽しい活動を行っていききたいと思います。(保育士 大倉)

毎朝歌に合わせて走ってるよ♪



風船大好き♪

【放課後等デイサービス こぐまクラブ】

学齢期のお子様を対象に年齢や目的に合わせた小集団療育を行っています。小学生のグループでは集団の目標に沿った療育プログラムを設定し、お友だちと関わり合いながら、個々の課題に向き合うと共に、強みを引き出していけるようにします。中高生のグループは、作業・クッキング・スポーツの3つのグループの中から、所属したいグループを選んでいただいています。好きだから、こぐまだから経験できると、選ばれる理由は様々です。一人ひとりの個性や強みを生かして、活動に取り組むことができる支援を行ってまいります。(保育士 西本)

【リハビリテーション課】

リハビリテーション課は、理学療法(PT)、作業療法(OT)、言語聴覚療法(ST)、心理の4職種から構成されています。PTでは運動発達の促進や歩行器・車椅子を使用した移動の支援、身体の変形や呼吸障害に対する支援、OTでは子どもの遊びや日常生活動作、運動、学習に対する支援、STでは哺乳、摂食、コミュニケーションに対して支援を行っています。心理は知能検査や発達検査、心理相談、ペアレントトレーニングを行っています。(作業療法士 斎藤)

多機能型事業所 愛らんど

【生活介護事業所 愛らんど】
常時見守りや支援が必要な方を対象に医療的ケアやスポーツ等を通して、健康や身体機能の維持向上をはかり、レクリエーションや創作活動を通して、社会参加を支援します。

【就労継続支援B型事業所 Smile Work】

一般就労が困難な方に、お菓子作りなどの作業を通して、社会生活に必要な知識やマナー、作業能力の向上のための訓練を行います。

【就労移行支援事業所 Work Step】

一般就労を目指す方に、職業訓練を行います。就労に必要な知識や能力を養い、実習や職場探しを通じて受け入れ企業の理解を深め、適正にあった就労と定着を目指します。

各事業所とも、ご利用者様お一人おひとりのニーズに合った支援が提供出来るよう支援内容の充実を図っていきたいと思います。(管理者 横尾)



【保育所等訪問支援事業 こぐま】

保育所等訪問支援事業は、児童福祉法に基づき、子どもが生活する場において、円滑な集団生活を送るための支援を行うことを目的としています。お子様の所属先(地域の特別支援学校、小・中学校、幼稚園、保育所等)に様々な職種の訪問支援員が訪問し、子ども達が生活する場で支援を実施しています。支援内容は、ポジショニング・介助等、お子様への直接支援や行動・状況を観察・評価し、生活の場で普段関わっていただいてる先生方へ行動の捉え方、環境設定や支援の仕方等の技術支援を行う間接支援等を行っています。子ども達は様々な環境(場所・人物など)に影響を受けながら生活しています。実際の生活場面で、支援を行うことで細かな環境等、見えにくかった部分にもスポットをあてながら支援することが可能となっています。また、個別療育やグループ療育担当とも連携し、チームで子ども達をサポートしていくことでより充実した支援に繋がっていききたいと思います。

「地域で暮らす為の支援」を念頭に置き、今年度も東へ西へ、南へ北へ! 駆け回り、地域の応援団を増やしながら、子ども達が地域で生き生きと生活できるよう育ちを支援していきます。(訪問支援員 橘田)



新入職員を紹介します!

① 名前 ② 職種 ③ 今、ハマっていること



① 長 智祥
② 作業療法士
③ 映画鑑賞とゲーム



② 藤川 千緒里
③ 作業療法士
④ 可愛いハンカチ探し



① 矢野 未来
② 作業療法士
③ 音楽を聴く、カラオケ



① 松尾 恭史郎
② 言語聴覚士
③ サッカーとK-POP



① 野間 康美
② 公認心理師
③ おいしいもの探し



① 井上 澄子
② 公認心理師
③ 動物、食べ歩き、音楽



① 鹿田 幸一
② 児童指導員
③ ニンテンドースイッチ



① 樋口 奈那子
② 児童指導員
③ こぐま学園周辺の散策



① 高山 みほ
② 保育士
③ 無料ドラマを観ること



① 日比生 陽子
② 保育士
③ チンチラ飼育



① 麻田 直司
② 支援員 (尾久保研修所)
③ 断捨離



① 富安 朋子
② 保育士 (尾久保研修所)
③ グリーンカレー



① 瀬戸口 智子
② 臨床心理士 (非常勤)
③ 近所をウォーキング



① 水田 千恵
② 看護師 (非常勤)
③ 水田屋ネットショップ

よろしくお願ひします♪

看護雑誌に論文が掲載されました!

この度、主に看護師を対象とした隔月刊誌「こどもと家族のケア」に、『肢体不自由児に関する特別支援学校での取り組み』と題し、当法人での保育所等訪問支援事業を通して行った支援や連携に関する論文が掲載されました。

子ども達が、地域の中で伸び伸びと生活していけるために私たちにできる事は何かと、この貴重な機会に改めて考えを深め、整理できた事は一つの大きな経験となりました。(理学療法士 山下)



お花を

いただきました

社会福祉法人八千代会 (久留米市田主丸町) より、ガーベラをいただきました。非日常の毎日の中で、心休まる贈り物に感謝いたします。(園長 林)

退職者の報告

- 川野麻紗子 (保育士)
- 松本奈穂 (保育士)
- 宮崎文佳 (作業療法士)
- 松元竜助 (事務)
- 薄衣重行 (事務)
- 板橋彰 (尾久保研修所支援員)

行事予定について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、6月末までの行事を中止および延期とさせていただきます。

ご理解の程よろしくお願ひ致します。(園長 林)

広報誌「そら」の発行について

いつも「そら」をお読みいただき誠にありがとうございます。ごさいます。

発行回数につきまして、昨年度までの年間6回(奇数月)から年間4回に変更させていただきましたこととなりました。今後も、皆様に楽しみにしていただけるよう努めてまいります。(そら委員 宇野)